

広報
262号

東京都製紙原料協同組合

発行所
東京都製紙原料協同組合
台東区台東3-16-1
TEL (3831) 7980~1
発行人 近藤 勝
編集広報委員会



創立60周年記念式典

文京支部 大柴和男

〈 主な内容 〉

時の視点 創立60周年記念式典挨拶	理事 坂田秀一郎	13
理事長 近藤 勝	2~3	実行委員 広報部副部長 脇常任理事 13~14
静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会	3~5	実行委員 会計理事 高橋 宏明 14
東京都資源回収事業協同組合との懇談会	5~7	第49回 清風会ゴルフコンペ開催 14
時の話題 特集 創立60周年記念行事	7~11	支部便り
創立60周年記念行事を終えて		支部スケジュール 15
実行委員 江墨支部長 松井副理事長	11	お知らせ 15~16
実行委員 中央支部長 菊地常任理事	11~12	「12月会議・歳事予定」「古紙価格」「訃報」
実行委員 荒川支部長 久保田常任理事	12	会議概要「9月・10月」 16~24
実行委員 足立支部長 赤松常任理事	12	編集後記 広報部長 清水弘允 24~25
実行委員 事業部長 坂田常任理事	12	広告 26
実行委員 城北支部長 黒田常任理事	12~13	

時の視点

創立60周年記念式典挨拶

理事長 近藤 勝

本日ここに、東京都製紙原料協同組合が創立60周年記念式典を挙行するにあたり、衆議院議員松原仁様、斉藤斗志二様を始め東京都議会議員 高島直樹様、東京都環境局 有留局長様、経済産業省製造産業局紙業生活文化用品課 進藤課長様、そして得意先業界関係、組合関係の方々、大勢のご来賓のご臨席を賜り心より感謝申し上げます。有難うございました。

本組合は昭和22年に創立されてから60年が経過致しました。しかし、太平洋戦争で消滅してしまっただけのものその流れは大正2年に設立された6社協議会から始まり、東京製紙原料同業組合、東京製紙原料卸商業組合と我々業界の先人が活躍された100年近い長い歴史を持つております。大正、昭和、平成と大きな

業界を取り巻く社会の激変を乗り越え、現在では循環型社会に大きく貢献できる産業に育てあげて頂いた多くの先輩方に対し、心から敬意と感謝の気持ちを表したいと思えます。

現在、本組合員数は東京都内10支部で230社となっており、10年前の300社からは2割以上減少致しました。その間、減少に歯止めをかけるべく活性化委員会を発足し新しい魅力ある組織作りに取り組んで参りました。従来の組合事業に加え、関連業界、得意先業界とできるだけ多くの定期的会合を持ち様々な状況について情報発信することに最も力を入れて参りました。又、毎年総会と同時開催されます永年勤続従業員表彰も本年度第46回目を迎えました。日頃から古紙の品質、維持向上の為に汗を流している従業員の、長年の功績を称えるとともに今後も当業界を支える一員としての活躍を期待するものであります。更に近年、コンプライアンスの徹底に対応する為、組合員の各種許認可、認証制度取得支援にも積極的に取り組んでいるところであります。

さて、平成10年の組合創立50周年からの10年間は正に激動の期間でありました。前半は

古紙再生利用促進決起大会から始まり、環境問題により促進される古紙回収量の急増、価格暴落、逆有償回収などの苦難に直面して参りましたが、後半には隣国、中国の急成長により余剰古紙の輸出調整が可能となり資源業界は一変致しました。世界的資源不足から投機資金が流入し原油、穀物等過去に例を見ない程の高騰を見せ社会を不安に落とし入れたのもつかの間、昨年、端を発したアメリカ発の金融問題から世界的な株安、景気後退がはじまり、中国向けの輸出産業を中心とした日本の好景気、様々な資源に対する需要増も一気に冷え込んで参りました。



そして創立70周年に向けての新たなスタート台に立った今、これまでに経験のない未知の局面に入っていくことになりました。組合事業も支部組織の再編など取り組む課題が多多く残っておりますが、社会情勢の変化、特に、出版不況、少子高齢化、デジタル化、景気後退による紙需要の減少が紙の業界全体にその影響を及ぼしております。我々古紙業界は、どのような経済状況を迎えようとも確立された古紙リサイクルシステム、高品質の古紙、そして適正な利益の確保というものを今後も維持し、更なる古紙回収の促進に努めて行かなければなりません。その為にも、グローバル化した古紙業界は全原連を中心として各単組が横のつながりを持ち、それぞれの地域色を出しながら諸問題に対処してゆくことが重要であると考えております。

創立60周年を契機に、確固たる循環型社会を支える産業として、誇りをもって今後も業界の発展に寄与できるよう組合員一同決意を新たにしております。本日ご来臨の皆様方には今後とも確かな情報交換の場を提供して頂き、更なるリサイクル推進の為にご指導、ご鞭撻を賜りますよう心からお願いを申し上げます。

ましてご挨拶とさせていただきます。本日は誠に有難うございました。

静岡県紙業協会

家庭紙部会との懇談会

〔平成20年10月29日（水）午後4時00分〕

於）ホテルグランド富士

出席者：静岡県紙業協会家庭紙部会28名

（内、家庭紙メーカー19名）

静岡県製紙原料商業組合 7名

東京都製紙原料協同組合 11名

各団体代表挨拶

山北篤史 紙業協会会長

夏に在庫調整をしている所にリーマン・ショックが起き、更に厳しい減産態勢に入っている。米国、中国と言う引っぱり役に元気がない。特に中国、円高の動向が2大注目点である。今日は情報交換をして、有意義に過ぎたい。

井出純一 静岡県紙業協会家庭紙部会長

先日の東京都製紙原料協同組合の60周年記念お目出とうございました。家庭紙の現状は、1次、2次の価格調整をしたが不十分なため、第3次価格調整を実施中だが苦戦している。円高、株安の影響がどう出るか。パルプは9月30日、10月70日\$の計100\$の下げに加え、円高により円ベースでは15〜20円/kg下げている。中国からのトレットペーパーの入荷の可能性があり、年末に向け値崩れがないか心配している。

近藤 勝 東京都製紙原料組合理事長

60周年記念には、多数のご参加有難うございます。また東京で開催した2月の家庭紙部会に多数ご参加有難うございました。米国、中国発の津波が来るのか心配になっておりますが、リサイクルの輪は切らず事なく、続けて行きたいと思っております。

佐野 一 静岡県製紙原料商業組合理事長

古紙価格については今から、未体験の領域

に入っていくかもしれない。

家庭紙部会の現状について

井出家庭紙部会長〔静岡県紙業協会家庭紙部〕

第3次価格調整を実施中。利益の取れる価格の実現をしたい。パルプ価格が下がっているので、製品価格の値が通り難くなっている。小売業者がトイレットペーパーを、また値下げ商品として使わないでほしい。E社が今回発表した値下げ1000品目には、トイレットペーパーは入っていないようである。

古紙市況について

赤染直納部長〔東京都製紙原料協同組合〕

10月に入って古紙市況は激変した。大余剰の気配がある。鉄スクラップ価格は、1/5から1/10に大幅に価格が下落した。今月英国、オランダの古紙事情を視察した。英国は60%を輸出している。価格は半月単位で変動している。日本の産業古紙は印刷・出版不況により発生は減少している。全体の古紙回収量では、平成20年は前年比、初めて減少する予想。

家庭紙原料について

小林直納副部長〔東京都製紙原料協同組合〕

上物古紙の取り合いは終了するのではないかと。洋紙メーカーの減産による影響。

オフィス古紙について

高橋委員〔東京都製紙原料協同組合〕

発生は減っている。年末に向け増えるのではないかと。

集荷部より

松井副理事長〔東京都製紙原料協同組合〕

印刷製本組合員数は12年の間で2/3に減っている。理由は、市場の縮小、需要の減退。そういった状況下で発生も減っている。

静岡の組合より

鈴木委員〔静岡県製紙原料商業組合〕

産業古紙は大変減っている。オフィス古紙は9月、10月少なかった。

〔質疑応答〕

G 原料側 **M** メーカー側

Q 雑誌古紙価格は今後下がると思うが、新聞古紙の価格はどう変動すると思うか。

A 理論上は国内のみではバランスが取れているが、やはり下がるのではないかと。段ボールは構造的に余っている。

Q 市況の激変の中身が理解出来ずにいる。

A 産業古紙の発生が増加する事は考えられない。オフィス系は季節により増減がある。上物古紙に余剰感はない。

* (M製紙) 生産も順調、在庫も少ない。
第3次価格調整を実現したい。古紙原料を安定的に供給して欲しい。

Q 余剰感の原因は？

A 産業古紙に余剰感はない。裾物3品は余剰感があり今から更に酷くなると思う。産業古紙の需給に関して

は、洋紙メーカーが原料としてパルプと産業古紙を、どの様にバランスして使用するかで、余剰感になるかどうかが決る。

Q—M…輸出雑誌の価格と、家庭紙の原料価格は連動すると理解しているが。

A—G…組合が取組んでいる10月分のケント共販輸出は、国内価格を上回っている。値差が2円から5円あれば、国内向けに業者は選別するだろう。込頁、ミックスは産廃業者が強い。

Q—M…古紙グレードを統一して欲しい。組合主導で出来ないか。

A—G…難しい。品質と価格は、しっかり関係付けたい。欧州、米国は発生段階から分別が出来ていない。我が国の古紙はしっかりした分別が出来ている。また業界として古紙アドバイザー制度を導入して、グレードの統一に努力している。

Q—G…富士地区の洋紙減産の見通しはどうか。

A—M…新聞のみ減産予定。塗工紙の減産予定は岩国方面であると聞いている。富士では今のところ予定はない。

東京都資源回収事業協同組合 との懇談会

〔平成20年9月18日（木）〕

於）東資協会議室 pm4:00

出席者：東京都資源回収事業協同組合（15名）

東京都製紙原料協同組合（14名）

吉川理事長（東資協）の挨拶

今回で2度目の懇談会であります。今回は東資協のビル内にある会議室で懇談会を行います。

今のところ古紙の業界は順調であると感じていますが、海外ではリーマンショックと中国の景気もそれほど良くない状況であります。

政界についても不安定で非常に不透明な時期に入ったと感じております。こういう時期

には同じ物を扱っている団体同士が、情報を交換しあって組合運営に役立てていただきたいと思います。これからもこの懇談会が長く続くよう望んでいます。



近藤理事長挨拶（東京協組）

1年前に東資協前理事長とお話した際に、お互いに資源を回収する立場の業界なので情報を交換しあって、良い組合作りをしていこうと言うことで懇談会が始まりました。今回で2度目の会議となりますが、お互いの組合の活性化に繋がるよう役立てていきたいと思っています。

このところ市況も変わってきた事もありますが、仕人の過当競争、組合員の減少を食い止めなければいけない等、組合として取り組まなければいけない事項があります。組合同士がお互いに連携して、それらの問題に取り組んでいきたいと思っております。

10月には当組合の創立60周年記念行事があり吉川理事長他、沢山の方々に出席していただきたく思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

行政回収と集団回収の状況について**（東資協）**

行政回収は9年前から始まりました。当時は、雑誌は逆有償であったが現在は市況がまった

く変わっている。回収量は半分ぐらいに減っている。

抜取りの組織化が問題になっている。手法が細かくひどくなっている。何とか改善する方向へもっていききたい。

北区でも行政回収がひどくなっている。警察も区により扱いが統一されていない。

荒川区でも時代背景があるかもしれないがひどくなってきた。マンシヨンのゴミ置き場の鍵が壊され古紙が持つていかれた報告もある。

（東京協組）対応策として文京、練馬では早朝、早取りをして防衛している。実力行使が良くきくようである。

古紙全般の市況について（東京協組）

現在の古紙は輸出なしでは考えられない。輸出は今年に入り2月3月5月と非常に順調に推移してきた。北京オリンピックが終わったが下げはない。ただオリンピック前に計画した生産量が計画通りにいっていない。新聞雑誌は底固く段ボールは輸出価格が下がっている。

全体的には発生量が少ないため、決められたパイの奪い合いの状況となっている。

集荷側より（東京協組）

このところ少子化がすすみ子供が本を読まなくなった。少子化により学校関係の物の3分の1が減っている。又、インターネットの普及により紙を使わなくなってきた。産廃業者は、誰でも入ってこれる状況なので過当競争が激しくなっている。環境を変えていかないとやっていけない。

質疑応答、他

価格の問題については、以前の水準に戻ってきた。

以前、参入していなかった業者が参入してきている。

古紙業界に対する目が変わってきているようである。

時の話題

特集 創立60周年記念行事

東京都製紙原料協同組合

平成20年10月24日（金）

於：上野 精養軒

記念式典 午後4時～3階「桐の間」

記念祝賀会 午後6時～3階「さくらの間」

平成20年10月24日（金）上野・精養軒にて東京都製紙原料協同組合の創立60周年記念行事が開催されました。

当日は、あいにく嵐のような天候で滝のような大雨が日中降り続けました。しかし、記念式典が始まる午後4時前には、60周年記念を祝うかのようにその雨もピタリと止み、各関係の招待客や組合員が会場に大勢詰め掛けました。

記念式典

参加者：191名

（来賓 103名・組合員 88名）

式次第

- 一、開会の辞
- 一、主催者挨拶
- 一、財団法人 古紙再生促進センター
表彰状授与
- 一、受賞者代表謝辞
- 一、来賓祝辞
- 一、来賓紹介
- 一、祝電披露
- 一、閉会の辞



松井副理事長

午後4時、松井副理事長の開会の辞で記念式典が始まりました。

主催者である近藤理事長の挨拶があり、その後、財団法人 古紙再生促進センター堀川理事長より団体表彰の表彰状と授与と記念品が渡されました。



団体表彰

式典では、ご来賓より祝辞を頂きました。

来賓者祝辞

衆議院議員 松原 仁 様



衆議院議員 齊藤 斗志二 様
(代読 秘書 齊藤 喜一郎 様)

東京都環境局 局長 有留 武司 様



経済産業省 製造産業局

紙業生活文化用品課

課長 進藤 秀夫 様



財団法人 古紙再生促進センター

理事長 堀川 澈二 様



東京都製本工業組合

理事長 星野 一男 様



社団法人 静岡県紙業協会

副会長 佐野 廣彦 様



全国製紙原料商工組合連合会

理事長 栗原 正雄 様



関東製紙原料直納商工組合

理事長 深田 和利 様



ご来賓に祝辞をいただいた後、本日、所用で来られなかった衆議院議員 鳩山邦夫元当組合名誉顧問や衆議院議員の高木美智代様、その他多くの方からの祝電を披露致しました。最後は、坂田事業部長の閉会の辞で滞りなく式典が終わりました。



坂田事業部長

記念祝賀会

参加者：23名（来賓 124名・組合員 115名）

式次第

- 一、開会の辞
- 一、来賓祝辞
- 一、実行委員会の紹介
- 一、乾杯のご発声
- 一、アトラクション
- 一、木遣り
- 一、中締め
- 一、閉会の辞

清水副理事長の閉会の辞により記念祝賀会が始まりました。



清水副理事長

来賓祝辞
衆議院議員 河村たかし 様



東京都議会議員 高島 直樹 様



来賓の祝辞の後は、今回の創立60周年記念行事に準備から本日まで携わった実行委員会のメンバーの紹介が近藤理事長よりありました。



来賓者紹介

財団法人 古紙再生促進センター

専務理事 鈴木 節夫 様

特殊更紙工業組合

理事長 渡邊 明治 様

東京都印刷工業組合

専務理事 武石 三平 様

乾杯のご発声

社団法人 東京都リサイクル事業協会

理事長 畑 俊一 様



乾杯の後、和やかな中で祝宴が始まりました。祝賀会のアトラクションはフラメンコでした。



松井副理事長の娘さんを筆頭に5名のダンサーとプロの演奏者による華やかなステージが始まりました。参加された来賓者や組合員の方々も飲食を取りながら終始ステージに釘付けとなりました。



1時間半ほどの祝賀会も大詰めにかかり、木遣りと中締めとなりました。

中締め
東京都資源回収事業協同組合

理事長 吉川 太郎 様



高山総務部長

当組合の記念行事にご参加いただいた方々、そしてご協力いただいた方々に心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました

記念式典から始まり、4時間にもおよんだ創立60周年記念行事も、全てが終わり高山総務部長の閉会の辞で幕が閉じました。

創立60周年記念行事を終えて

創立60周年行事が終わり

実行委員 江墨支部長 松井 副理事長

60周年行事が終わりホッとしている。実行委員の誰もがそう思っていると思う。

私は60年前の業界のことはわからない、東京の叔父の家で古紙回収業をやっていたので、岐阜の田舎から高校生のころ遊びを兼ねてアルバイトにやってきた、当時は木製の箱の中に古紙を入れ鉄棒でつき梱包していた、40数年前のことである。その頃が私の知る中で是最古の古紙業界の思い出である。60年とは如何に古いことが今回つくづく感じた。それにしてもひとつの行事を成功させるのは大変なことだと思った。ミスのないように、皆さんに失礼のないように、当日は楽しんでいただけるように実行委員の気遣いは私にもひしひし伝わった。

このようなことは10年に一度だからできることだと思ふし、だから価値のあることだと思ふ。今回の行事は成功したと思ふが、次回70周年をより良くするために、実行委員の皆さんで気づいたこと、反省点、段取りの要領

等を書類にして残してはどうか。

組合創立60周年行事に参加して

実行委員 中央支部長 菊池常任理事

60周年記念式典実行委員会が、発足してから、毎月数回の打ち合わせを行いました。

近藤理事長はじめ、各委員ともご多忙のところ、日程調整しながらの打ち合わせでしたが、50周年記念式典に係わった実行委員も多く「記念行事を成功させよう」のスローガンのもと、段取表に従って綿密な打ち合わせを重ね、会場にも足を運び、最後は、ドライリハーサルを行い、準備万端で当日を迎えました。

記念式典、祝賀会とも、緊張感の中にも、60年の歴史を振り返り和気藹々、時間の経つのも忘れるような、盛大な行事となったことは、ひとえに皆様方のご協力の賜物と、実行委員の一人として、感謝申し上げます。

ここ数年、地球温暖化問題が顕在化し、循環型経済社会の構築が、世界的に求められてきています。

他産業に先駆けて、古紙リサイクルシステムを構築、環境保全、森林資源の保護などに多大に貢献していることを再認識致しました。

今後、関係官庁との交渉、関係団体との連携が益々重要になって来ることを考えますと、「組合」の存在は計り知れなく大きいと思います。

組合創立60周年行事に参加して

実行委員 荒川支部長 久保田常任理事

60周年記念式典及び祝賀会が、盛大そして無事に終了致しました。

年始めより関係者の皆様による企画や度重なる打ち合わせがあり皆様お疲れ様でした。また、支部としての準備は、過去10年間の行事や写真の提出を依頼されました。集合写真などは案外少なく困りました。今後は集合写真など残す様心掛けたいと反省しております。祝賀会の当日は荒川支部からは、ご来賓と支部員合わせて18名が出席をさせて頂き楽しいパーティーとなりました。

60周年の準備期間で思う事

実行委員 足立支部長 赤松常任理事

今年に入ってから理事会で、今年が創立60周年だと聞かされ、これは準備が大変だなー

と思うと共に、ついこの間創立50周年を行なったと思つたら、もう10年たったのかと月・日が過ぎる早さを感じるしだいです。この数年の間、足立支部においても、古紙業界の不況が続いた影響で、14社位支部を退会しました。しかしこの1〜2年は、世界的な資源高、原料高となり支部員4社増え、合計21社になりました。我々の業界も古紙の単価が上り続け、久しぶりに活況を見る事ができ、この最高時に60周年を迎えられる事は大変嬉しい事です。これが後、1ヶ月でも遅かったら状況も周りの雰囲気も大分違っていた事でしょう。本当に安堵しているところです。60周年の準備は、理事も方もいろいろ大変ではありましたが、何度かの会合が組合理事の結束を更に強めたと思います。今回この準備期間で良かった事は、理事みんなが一致団結出来た、その事が一番の収穫だと思います。今後数年は、古紙業界及び世界経済の冬の時代が続くと思いますが、私も含め皆さんも気持ちだけは明るく持ちましよう。

60周年を振り返って

実行委員 事業部長 坂田常任理事

日頃組合員の皆様には、大変御協力頂き誠に有難うございます。

さて60周年記念式典の為に実行委員会を立ち上げて、数ヶ月前から幾度となく会合を開き、議論を重ねてまいりました。その結果はというと、すばらしい会で大成功であったのではないかと思います。多くの方から良かったと言つて頂き、本当に開催して良かったと思えました。これからも組合員皆様の為に、より良い環境作りにも少しでも力になれるように頑張つていく所存です。最後に今回作り出した60年誌はこの10年の古紙のあらゆる事が書かれているとてもすばらしい記念誌だと思います。これからはカバンの中に常備し、古紙の辞書として持ち歩きたいと思つています。

東京都製紙原料協同組合

60周年記念

実行委員 城北支部長 黒田常任理事

平成20年10月24日上野精養軒にて開催。来賓、組合員含めて239名参加大成功にて閉会。

これも実行委員長の近藤理事をはじめ副委員長、委員総勢20名、理事役員の皆さんが一丸と成って協力しあった成果だと思ひ皆さんに感謝を致して居ります。

清水弘允様には会議の時に仔細に原稿など作り皆さんを引っ張る力はさすがと感服致しました。又、各委員さんも何回も会議を重ね各自の役割をこなし開催出来ました事をお喜び申し上げます。

自分の役割は祝賀会の司会の補佐役と進行などと支部員参加掌握の件でした。河村たかし衆議院議員の先生が来られるのが少し遅く乾杯の後に見えたので、挨拶の最中に一部の人が立つて料理コーナーに行かれたのが少し残念でした。

田中英子プロの司会で当組合副理事長、清水弘允氏の開会の辞。東京都議会議員 高島直樹様の挨拶、実行委員の紹介が有り乾杯の首頭を東京都リサイクル事業協会会長 畑俊一様に頂きました。アトラクションは松井副理事長の娘さんが所属しているフラメンコ。約一時間大変盛り上がりしました。その後、江戸消防記念会渡辺晋作氏の木遣り東京都資源回集事業協同組合理事長 吉川太郎氏の中締め当組合総務部長高山昭二郎氏の閉会の辞で

お開きと成りました。

今日は午後より大雨が降り心配したが懇親会が終る頃は60周年を祝うように雨も上り皆さん気持ちよくお帰りに成ったのでは。

次会70周年に向けて会員全員で頑張ってくださいませ。

式典について

理事 坂田秀一郎

主催者側のスタッフは全員一丸となり、それぞれ役割分担が多少問題はあったかと思うが、苦勞の甲斐あり、それなりに良かったと思う。組合事務局の苦勞も大変だったと思う。来賓について

御来賓の御挨拶は多かったが、一人ひとりの御挨拶を聴く中に、我が業界のレベルがアップしていると思う。又、その重要性が再認識出来た。品質の厳正さ、分別を一層強化して行かねばならないと思った。静岡・丸富製紙会長の発言の中で、牛乳パックの回収増強とか、シュレッダー古紙の微細化は困惑しているの今後組合に於いてもそれについて関係・関連団体と意見交換をすべきだと思った。又、我々もPRしなければならぬと思つた。

式典と祝賀会との時間調整に持ち時間が出来て少々間が抜けた感がしないでもない。

余興について

フラメンコは舞台が手狭で、出演者に申訳ない気がしたがフラメンコは本格的で、本場スペインの雰囲気要充分伝わってきて、彷彿とさせられた。フラは二回目だが前回よりも今回が向上していると思つた。踊り手も唄も楽器もすばらしかった。木遣りでの手締めも粹な感じがした。

コンパニオンについて

実際よくやってくれたと思う。着物姿でよく分つた。多少コンパニオンの人数不足なのかと思つた。

私が発言して、大変申訳ないと思ひました。

60周年記念誌あれこれ

実行委員 広報部副部長 脇 常任理事

組合創立60周年記念式典、祝賀会とも無事終了しました。正副理事長はじめ各担当の理事さん、青年部の皆さん大変お疲れ様でした。私自身にとつて記念事業の準備は3月頃から始まりました。理事会において記念事業と記念誌の発刊が決定され、支部長でもある私が

おそらく山手支部の10年史を書く事になると資料や写真を集めだし、5月の連休に書き上げました。広報部の所管である記念誌の発行準備はまず発行所の選定からでした。清水部長より過日開催された中部商組の記念誌は紙業タイムス社が発行しているとの話で双方面談の上、当組合の記念誌を手伝っていただく事になりました。「総会」が終了すると記念事業の実行委員会も立ち上げられ、理事会も60周年モードへと突入しました。7月には相談役、O.B、大先輩の皆様にお集まり願ひ座談会を開き、10年間の思い出を語っていただきました。また前、元理事長をはじめ関係団体の皆様からも巻頭の文章をお願いしました。8月には各支部からの原稿がそろい、皆様のお手元に60周年記念誌が届いていると思います。是非一度、目を通して頂きたいと思ひます。最後になりましたが、この記念誌の発行に多大なご尽力をいただいた紙業タイムス社の高橋社長に謝意を表したいと思ひます。

60周年について

実行委員 会計理事 高橋宏明

今回は、会計として参加した。60周年記念式典の様子についてお話ししたいと思います。当日は、スペースが無い中で受付の裏側となる御来賓のお土産の山に囲まれながら、坦々と会計の仕事を事務局の女性と二人でやっていました。何を勘違いをしたのか用があるたびにいちいちパーテーション越しにノックをしてくる受付の係りの男性が「お邪魔してすみません。」(そんなムードじゃない)と、茶化されながら頑張っておりました。と、言う訳で式典全体の流れは把握しておりましたが、進行状況は全く分からず「どうなっているのかなあ」と、何気なく窓の外を見ると、ちょうどL字の様な位置関係になっていて話は聞こえないものの、式典の様子は丸見えでとても良い場所でした。

また、隣の懇親会会場からは、リハーサル中のフラメンコの音楽などが聴こえて来るので、気持ちも楽になり、私なりに楽しんだ式典となりました。

第49回 清風会ゴルフコンペ開催

事業部長 坂田 智

今年2回目の清風会ゴルフコンペは、茨城県ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎にて開催されました。快晴のゴルフ日和のなか、今回は12名の参加で競われました。

ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎は池とバンカーが配置された戦略的なコースで、腕に自身のある人、無い人、それぞれに楽しめるコースでした。

その中で、今回私、坂田がなんと30年間幹事役をやりながら1度も手に入れた事の無い優勝に輝きました。

歴史ある清風会ゴルフ・コンペの優勝者として名前が刻まれた事は喜ばしい限りです。

成績は次の通りです。

優勝	坂田 智	次回ハンディ	15
準優勝	近藤 勝	次回ハンディ	3
3位	皆川 昇	次回ハンディ	23
ベスグロ	近藤 勝		
ブービー	坂田秀一郎		

支部便り

支部スケジュール

〔千代田支部〕

支部会・忘年会 12月8日(月) 采の家

〔中央支部〕

支部会 12月12日(金)

〔文京支部〕

忘年会 12月8日(月) 大倉

〔台東支部〕

支部会・忘年会 11月末 日にち場所未定

〔荒川支部〕

忘年会 12月10日(水)

10日会支部合同

歳末夜警 12月 日にち未定

新年会 1月 日にち場所 未定

〔足立支部〕

支部会・忘年会 11月末 日にち場所未定

支部会 12月はなし

〔山手支部〕

忘年会 12月6日(土) 鮎やなぎ

〔城南支部〕

忘年会 12月6日(土) 屋形船

新年会 2月7日(土) 旅行

〔江墨支部〕

忘年会 12月18日(火)

〔城北支部〕

忘年会 12月12日(金) 場所未定

※直納部主催

海外メーカー工場視察研修会

訪問先：中国(北京・大連)

北京郊外の製紙メーカー・古紙ヤード

期間：平成20年11月21日(金)～24日(月)

宿泊：北京(ザ・リージェント北京)

大連(ホテル日航)

両方とも 5星ホテル

※組合同新年会

平成21年1月17日(土)

午後6時より

日暮里駅前 ホテルラングウッド

※組合事務局・年末年始休暇

12月27日(土)～1月4日(日)

(12/27・28土日)

年末年始休暇12/29～1/4)

お知らせ

〔12月会議・催事予定〕

12月4日(木) 常任理事会 (pm2:00)

理事会 (pm3:30) 上野・東天紅

12月4日(木) 清風会研修会 (pm5:00)

清風会忘年会 (pm6:00) 上野・東天紅

12月7日(日) 関東商組との親睦ゴルフ会

太平洋クラブ成田コース

12月10日(水) 直納部忘年会 (pm5:00)

上野・伊豆菜本館

〔古紙価格〕

〔東資協の古紙4品の標準売値〕

平成20年10月8日現在

*新聞	13	16円	(横這い)
*雑誌	10	12円	(横這い)
段ボール	12	13円	(横這い)
色上(並)	10	12円	(横這い)

〔古紙品質調査事業〕

平成20年10月～12月価格

〔新聞 古紙〕	20,000円/トン
〔段ボール 古紙〕	18,000円/トン

計 報

城南支部 … (資) 豊田八郎商店

(代表者 豊田大八 様)のご令室 豊田律子 様 (享年55) が平成20年9月30日にご逝去されました。

台東支部 … (有) 櫻井紙業

代表者 櫻井 数美 様 (享年79) が平成20年10月22日にご逝去されました。

会議概要 (9月・10月)

9月度定例理事会 (平成20年9月3日(水))

出席理事27名(於) 組合会議室 p.m.4:00
近藤理事長挨拶

2ヶ月ぶりの役員会ですが、この間、7月、8月と60周年記念行事に向けた実行委員会を何回か開き、準備が着々と進んでおります。本日は、60周年記念行事の途中経過の報告、それ以外の組合活動の報告事項、審議事項について会議を進めていきたいと思いますのでよろしくお願致します。

〔各部報告〕

〔総務部〕

60周年記念行事にむけて準備を進めていく。

〔直納部〕

8月の直納部の納涼会が盛大に開催できありがとうございました。

* 市況について

中国はオリンピックが終わり、買い付けが始まったところである。価格の下げがあり一段落の状況である。ただメーカーにより在庫のあるところと、ないところがある。新聞古紙

は一時上がったが、今は下がってきて足踏み状況である。日本のメーカーも新聞古紙の価格が高く感じているので、今後、新聞の買い付けが弱まるのではないかと思われる。新聞のスポット価格が消えてきている。原因としては原油の高騰とパルプの増産によりパルプが日本で余っている事が考えられる。アメリカの景気が悪く中国の動向が気になるが、価格帯としては現状があまり変わらない状況が続いてほしい。

〔集荷部〕

製本工組との古紙関係協議会に集荷部より3名が出席した。出版関係が悪く製本工組の仕事がない状況である。

集荷に関しても、発生が悪くてどうしようもない状況である。発生が少なくなったため、過当競争が激しくなってきた。

〔広報部〕

広報誌9月号の発行に向け打ち合わせをした。今回は、60周年記念行事の予告号として、打ち出す予定である。他の掲載記事としては、古紙関係協議会、返本加工協同組合の総会等で、支部関係では、支部だより、納涼会、支部スケジュール等を予定している。原稿の締切は9月10日。

<p>〔事業部〕 60周年記念行事のツメの準備をすすめている。</p> <p>〔青年部〕 製本工組2世との会合を10月21日に予定している。</p> <p>〔近代化推進事業委員会〕 渉外広報委員会：新聞広告について掲載内容を検討中である。</p> <p>経営革新委員会：古紙リサイクルアドバイザーの手順書を作成し講習会の日程を決める予定。</p> <p>古紙センター</p> <p>〔関東地区委員会〕〔平成20年9月24日（火）p m 3:00〕 於 古紙センター会議室</p> <p>〔需要動向〕 08/8月 単位トン、 （ ）は対前年同月比、在庫の（ ）は在庫率</p> <p>〔関東商組32社実績〕</p> <p>〔新聞〕</p> <p>仕入 75、328 (86.4%) 出荷 77、390 (88.2%) 在庫 6、594 (85%)</p> <p>〔雑誌〕</p> <p>仕入 53、288 (90.0%)</p>	<p>出荷 54、233 (92.6%) 在庫 5、684 (10.5%)</p> <p>〔段ボール〕</p> <p>仕入 129、212 (96.5%) 出荷 130、384 (98.3%) 在庫 10、129 (7.8%)</p> <p>〔関東・静岡実績〕</p> <p>〔新聞〕</p> <p>入荷 254、153 (99.7%) 消費 262、847 (98.4%) 在庫 185、944 (70.7%)</p> <p>〔雑誌〕</p> <p>入荷 120、707 (103.4%) 消費 124、773 (104.6%) 在庫 56、825 (45.5%)</p> <p>〔段ボール〕</p> <p>入荷 301、409 (95.0%) 消費 304、173 (100.8%) 在庫 118、816 (39.1%)</p>	<p>〔業者側コメント〕</p> <p>〔新聞・雑誌〕 新聞は7月でチラシが88%、本体101%、両方で94%。8月はチラシ95%、本体100%、両方で98.5%であった。アテネオリンピックの時と比較して、チラシ95%、</p>
<p>〔メーカー側コメント〕</p> <p>新聞はメーカーの在庫率は70%で4.2%ダウンしている。入荷は悪いが減産の勢いが強くなってきた。メーカーの在庫が少し落ちてきているが昨年と比べると少し多い状況である。年末までは、そんなに厳しい状況にならないと思われる。</p> <p>段ボールは7月の猛暑の影響で生産量が101.2%と伸びている。水物が多かったのが要因であると考えられるが、数字的にはいたしたことではない。8月は天候が悪く生産量が前年と比べ96%と落ちている。日数的に2日少なかっ</p>	<p>本体100%でそれほど変わっていない。1月～8月ではチラシ88%、本体98.6%、両方で96%であった。</p> <p>雑誌は、非発生期であり、これと言う材料はない。行政回収で雑誌の影響がどう出るか注目したい。</p> <p>〔段ボール〕 段ボールの1月～8月の入出荷は、入つてはすぐ出て行く状況であった。在庫はランニングストック状態である。回収は悪く、輸出は7月までの実態では少し落ちている。今後、仕入が下げられない状況が続くのではないかと思われる。</p>	

たが、お盆以降も上がらなかった。9月は前年比100%くらいで推移している。稼働日数が2日多いことと仮受が若干入っている。8月～9月の入荷は前年よりも良くない。各社が減産をしているが結果的には計画どおりか少し多かった。

古紙センター

業務委員会〔平成20年9月29日(月) pm1:30〕於 古紙センター会議室

- 〔1〕 古紙の需要・市況動向について
ページ数の関係で割愛
- 〔2〕 平成29年度第1回臨時理事会(書面)も結果について
- 〔3〕 平成21年度紙・パルプ産業関係予算について
- 〔4〕 古紙回収推進事業の進捗状況について
- 〔5〕 センターの古紙主要銘柄表の一部変更について
- 〔6〕 点字印刷物排出先へ送付する啓発チラシについて
- 〔7〕 集団回収実施団体への感謝状交付(中部地区委員会推選)について
- 〔8〕 その他…今後の主なイベント・セン

ターオリジナルキャラクターの決定
〔9〕 平成20年10月～21年3月の段ボール・新聞・雑誌の消費計画について(最終ページ参照)

60周年記念実行委員会

- ◎平成20年9月18日(木) 担当者会議
出席理事11名
東京ドームホテル1階喫茶室 pm2:00
記念行事の出席確認。担当者ごとの予算確認について。
- ◎平成20年9月24日(水)
第2回60周年記念実行委員会
出席理事 22名(内、業者3名)
上野精養軒 pm4:45
出席確認。準備状況の確認。各会場の下見。業者間の打合せ。

全原連第3回役員会

〔平成20年9月29日(月) pm3:00〕於 古紙再生促進センター
理事・監事60名…出席57名(内、委任出席29名) 欠席3名

〔1〕 古紙再生促進センター 関係

●業務委員会(9月29日開催)

◎平成20年10月～21年3月の段ボール・新聞・雑誌の消費計画について

・2008年4～9月実績

・2008年10月～2009年3月計画

段ボール:

- 4、010、774トン (前年比100.6%)
- 3、756、221トン (前年比98.9%)

新聞:

- 2、265、641トン (前年比101.2%)
- 2、024、035トン (前年比95.2%)

雑誌:

- 1、255、645トン (前年比103.3%)
- 1、188、739トン (前年比101.6%)

◎平成20年度第1回臨時理事会(書面)の結果について

・議案(1) 運用準備基金運用規程の制定に関する件

経済産業省紙業文化生活用品課から、センターが保有する運用準備基金(約25億円)が遊休資産でないことを明確にするため、運用準備基金運用規程を制定すべきとの指導がありました。

・議案(2) 評議員の一部選任に関する件

<p>前田清氏（三菱製紙㈱）を評議員に就任。</p> <p>◎平成21年度紙・パルプ産業関係予算について</p> <ul style="list-style-type: none"> 古紙リサイクルの推進（平成22年度までに古紙利用率62%目標設定） 21年度から「資源循環推進調査事業（委託）」に一本化（10百万円） <p>◎古紙回収推進事業の進捗状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> 配合率の問題から古紙回収についてメーカーと消費者とのギャップがあり、消費者に如何に古紙回収の大切さを理解して頂くことで各地区において啓蒙活動を積極的に行う。 センター本部で「平成20年度消費者意識調査」を8月実施。 ◎センターの古紙主要銘柄表の一部変更について 古紙の統計分類と主要銘柄（変更案）29銘柄から25銘柄へ 変更案… ①「雑がみ」の統計分類を「雑誌」から「台紙・地券・ボール・込新」に移動。 ②「ワンプ」の内容説明文を変更。 <p>◎点字印刷物排出先へ送付する啓発チラシについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> 固型点字印刷については原則としてリサイクル不可であるが特定のルートによりリサイクルされている例がありますのでこの印刷物をまとめて排出する場合は、古紙業者と相談して下さい。 ◎集団回収実施団体への感謝状交付について 推薦地区委員会…中部地区委員会 推薦団体…①高柵子供育成協議会、②膳棚町内会、③瑞穂市立本田小学校、④身延町立下部小学校・中学校PTA、⑤浅野町子供会 ◎その他 今後の主なイベント予定 ①紙リサイクルセミナー（10月29日（水）13:00～15:30 虎ノ門・発明会館） ②リサイクル・ペーパー・フェア（11月1日～11月3日アリオ鳳・大阪府堺市） ③エコプロダクト2008出展（12月11日～12月13日東京ビックサイト・東館） センターオリジナルキャラクターの決定 オリジナルキャラクター名…カミリーマ・カミリー（10月6日プレス発表）。 業務委員会予定 10月度開催…平成20年10月23日（木）13:30～センター会議室 	<p>11月度開催…平成20年11月27日（木）13:30～センター会議室</p> <p>(2) 環境省 関係</p> <p>◎特定調達品目検討分科会（委員として栗原全原連理事長が出席）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「官舎管理・清掃（ごみ処理）分科会」（9月16日開催経済産業省別館） 「紙類・印刷分科会」（9月12日開催環境省会議室） <p>以上の検討会進捗状況の報告</p> <p>(3) 全原連 関係</p> <p>◎審議事項（役員会上程、承認事項）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①平成20年10月1日に商工組合中央金庫が「株式会社商工組合中央金庫」移行に伴う「株式の割当」に関する件（全原連として割当株式数は1000株）。 ②「古紙商品化適格事業所」・「古紙リサイクルアドバイザー」申請認定に関する件 古紙商品化適格事業所…8月15日（4社、11所）、9月15日（2社、2所） リサイクルアドバイザー…8月15日（17社70名）、9月15日（2社、10名） ③民間活動「グリーン購入ネット（GNP）タスクグループ」加入に関する件。 <p>・環境省外郭団体として全国の多種多様な団</p>
---	---	--

体、企業が参加しており、情報発信、情報収集のために本会に加入。(加入人口数1口1万円/年)

(4) 各委員会報告

●経営革新委員会(9月12日開催)

・「古紙リサイクルアドバイザー」研修講習会開催予定

センターの古紙主要銘柄表の承認に伴い、「品質管理手順書」を作成し、最低でも品質管理責任者に第1回講習会を受講してもらう。(第1回講習会10月末〜11月上旬実施予定)。

●需給委員会(9月5日開催)

・「2008年古紙需給予測」(関東商組)については、回収量と国内消費量の需給差異を3、671千トンと予測する。

・海外市場調査(今年度はイギリス、オランダ)10月12日〜20日(8日間) 予定。

●IT推進委員会

・ホームページの全面見直しを検討する(10月9日開催予定)。

●渉外広報委員会(8月29日開催)

・新聞広告掲載について候補作品2点を選出。デザイン、広告文書再考を検討。

新聞広告掲載を全国版と地方版で検討。

10月度定例理事会

(平成20年10月2日(木))
出席理事27名(於) 組合会議室 p.m.4:00
近藤理事長挨拶

理事会前に東京都印刷工業組合に正副理事長、直納部長、集荷部長、専務理事のも計6名で表敬訪問をした。懇親会を来年の春に行うこととした。

60周年記念行事に東京都議会議員自由民主党で高島直樹幹事長を来賓として招待する事とした。東印工組や東リ協等の関係も深く、東京都の局長にも顔が広く影響力があるので今後、組合としてお付き合いしていく考えである。

〔各部報告〕

〔総務部〕

60周年記念行事にむけて準備を進めていく。

〔直納部〕

共販輸出について参加組合員を募る。

静岡県紙業協会家庭紙部会に向けて集直委員長会議と直納部会を開き、会議に対する対策を検討する。

特更工業組合との会議を今後、実施する予定である。

11月21日〜24日に海外視察研修を実施する。場所は中国の北京、大連。

*** 市況について**

輸出については、関東商組の共販輸出では10月価格で段ボールは下げ、新聞は横這い、雑誌は若干上げ。

国内の段原紙メーカーでは10月から値上げがあり仮需があるので、その後、どのように減産していくのが見えていきたい。

新聞も発行部数が落ちてきている。

〔家庭紙〕 家庭紙はタイトである。産業古紙、オフィス古紙とも低調なまま推移。製品在庫も多くはなく古紙も潤沢に入っていない。各家庭紙メーカーからの引き合いは強いが原料問屋では要求に答えられない状況である。

〔段ボール〕 日本の段ボールメーカーは10月から値上げに入っている。非常に端境期にきている。段古紙は大きく変わる時期にきているのではないかと。11月は、下おした価格になるのではないかと思われる。プレミア価格が完全に消えた。今後は本来の形に戻っていくのではないかと。

〔返本雑誌〕 返本は前年に比べ悪い。出版業界は10年近く右肩下がりである。

〔オフィス古紙〕 発生自体が落ちている。家庭紙メーカーからの要望がある。

〔特更〕 出版が良くならなにかぎり減って

いく。特更メーカーは業績が悪く家庭紙メーカーとはかなりの差があり低い。価格を修正してまで対応できていない。

〔集荷部〕

このところ8月・9月と発生が減っている。まだこの先も落ち込みが出てくるのではないか。

東印工では、一部の業者では印刷物は、そんなに減っていない話をしていたが、集荷としては、落ちていると感じている。

印刷物は廃刊が増えており悪い状況は、以前と変わっていない。発生も減っている。

〔広報部〕

広報誌9月号を先日送付した。11月号は60周年記念号として記念行事の記事を中心に掲載していく。すでに何人かには記事の依頼をしているので期日までに提出してほしい。その他の記事として9月の東資協との懇談会、清風会のゴルフコンペ、10月の静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会等を掲載予定している。60周年行事の記事の関係で発送の方が11月末頃になる予定である。

〔事業部〕

60周年記念行事に向けて最後の準備をすすめている。理事の方々の協力をお願いしたい。

〔青年部〕

60周年記念行事の手伝いをする予定。他に製本工組2世との会合を10月21日に予定している。

〔近代化推進事業委員会〕

経営革新委員会：古紙リサイクルアドバイザの手順書を作成し講習会の日程を決める予定。11月17日に大阪で経営革新委員会があり詳細が決まるようである。

需給委員会：10月12日～20日のイギリス、オランダの視察研修の報告。

渉外広報委員会：新聞広告について掲載内容修正点を中心に検討中である。

〔集直委員長会議〕〔平成20年10月14日（火）〕

出席委員13名（於）組合会議室 pm4:00～

1、直納

全体的な市況
輸出が弱くなってきており特にダンボールが悪い。
新聞は国内では頑張っている。国内は全体的

に在庫が多くなってきているが古紙業界にとっては、いい方向になってきているのではないか。一部、洋紙メーカーは減産に入ってきている。10月に限っては洋紙メーカーから家庭紙に流れることはないと思える。印刷用紙の在庫がたまりつつある。タイトのまま価格が変動しやすい状況にあるのではないか。今後も発生は低調に進むのではないかとと思われる。

〔オフイス古紙〕 家庭紙の製品価格を今年の6月と10月で比較調査をしてみた。大手洋紙では上昇している。

〔切付〕 発生が非常に悪い。

〔上白〕 変化なし。

〔返本雑誌〕 低位安定。マンガの休刊が今後、増えるのではないか。返品率は高止まり。発生は逼迫している。

〔上台紙〕 発生量は増える要素がない。

2、集荷

9月の発生はそこそこあるが10月はひどくなるのではないか。先が見通せない状況である。産業古紙は今後、期待できない。ケントの幅が少なくなった。コンピュータ化によりヤレが非常に少ない。

印刷業界では大手はそこそこ廻っているが、

下請け、孫受けに影響が出てきている。印刷用紙の値上げの影響もある。

3、静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会に向けて

○発生の状況報告と今後の見通しを説明する。

○現在の価格帯を維持してもらいたい旨を伝える。

○お互いの信頼関係を保ってもらいたい旨を伝える。

古紙センター

関東地区委員会〔平成20年10月20日(月) p m 3:00〕 於 古紙センター会議室

〔需要動向〕 08/9月 単位トン、

() は対前年同月比、在庫の() は在庫率

関東商組32社実績

〔新聞〕

仕入	80,641	(92.2%)
出荷	79,445	(91.0%)
在庫	7,790	(9.8%)

〔雑誌〕

仕入	57,675	(97.6%)
出荷	56,741	(96.5%)
在庫	6,618	(11.7%)

〔段ボール〕

仕入	133,420	(101.9%)
出荷	133,534	(102.3%)
在庫	10,015	(7.5%)

関東・静岡実績

〔新聞〕

入荷	246,739	(103.5%)
消費	252,064	(100.7%)
在庫	180,619	(71.7%)

〔雑誌〕

入荷	128,068	(113.3%)
消費	124,829	(100.3%)
在庫	60,064	(48.1%)

〔段ボール〕

入荷	318,372	(101.9%)
消費	328,727	(104.0%)
在庫	108,461	(33.0%)

〔業者側コメント、メーカー側コメントは省略〕

直納部委員会〔平成20年10月22日(水)〕

出席委員17名於 組合会議室 p m 4:00

* 輸出は段ボールを中心に落ちてきている。イギリスは60%古紙を輸出しているが中国向けはストップしている。日本はストップまではいかないがオフアアが難しい。

* 洋紙メーカーは大幅減産。

* オフィス古紙の使用が年々増えてきている。段ボール原紙の在庫は、メーカーはほとんどない。

* 新聞は、需要は心配ないが価格面ではマイナス要因。発生は変化なし。

* 雑誌は国内発生タイト。

* 静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会についての対応は集直委員長会議で出た内容とほぼ同じ内容で対応する予定。

古紙センター

古紙センター

業務委員会〔平成20年10月23日(木) p m 1:30〕 於 古紙センター会議室

〔1〕平成29年度第1回臨時理事会(書面)も結果について

〔2〕公益財団法人移行認定申請のスケジュールについて

〔3〕中部地区古紙品質調査の開始について

〔4〕集団回収実施団体への感謝状交付について

〔5〕古紙の需要・市況動向について
ページ数の関係で割愛

古紙センター

【全原連役員会】〔平成20年10月23日（木）

p m 3 : 00 〕 於 古紙再生促進センター
理事・監事 60名：出席 60名（内、委任出席 34名）
欠席 0名

（1）古紙再生促進センター 関係

●業務委員会（10月23日開催）

◎公益財団法人移行認定申請のスケジュール等について

・平成20年3月開催の理事会・評議員会において公益財団法人を目指すことで決議され、本年10月以降、内閣府に認定申請書を提出するまでに整えるべき主要項目と最短期スケジュール（平成21年5月中に経産大臣の認可を得て、6月の理事会・評議員会で決議・承認、平成21年12月中に申請）で進めている。

◎中部地区古紙品質調査事業の開始について
・開始時期：平成20年11月

参加業者：問屋業界12社、メーカー6社7工場

数量：段ボール165トン、新聞165トン

◎集団回収実施団体への感謝状交付について
・推薦地区委員会：東北地区委員会（5件）、近畿地区委員会（2件）

推薦団体：①青山町町内会（秋田県秋田市）

②花巻市立矢沢中学校PTA（岩手県花巻市）

③泉町2丁目子供会（宮城県石巻市）

④山形市立第六小学校PTA（山形県山形市）

⑤ほっと・アクト（福島県西郷村）

⑥北安岡寺子供会（大阪府高槻市）

⑦つばめ子供会（大阪府枚方市）

◎古紙消費計画見直し提出のお願い
*平成20年11月、12月、平成21年1月～6月

における段ボール・新聞・雑誌の消費計画について

・調査期間：平成20年11月、12月、平成21年1月～6月

調査品種：段ボール・新聞・雑誌

提出期限：平成20年11月12日（水）

◎オリジナルキャラクターのプレス発表について（10月6日プレス発表）

*オリジナルキャラクター名：「マミリーちゃん」と「カミリイママ」

◎今後の主なイベント予定

①紙リサイクルセミナー（10月29日（水）13：00～15：30 虎ノ門・発明会館）

②リサイクル・ペーパーフェア（11月1日～11月3日アリオ鳳・大阪府堺市）

③エコプロダクト2008 出展（12月11日～12月13日東京ビックサイト・東館）

④業務委員会予定

11月度開催：平成20年11月27日（木）

13：30～ センター会議室

新年互礼会：平成20年1月9日（金）

13：30～ ホテルグランドパレス

1月度開催：平成21年1月23日（金）

13：30～ センター会議室

（2）経産省 関係

◎日本経済の将来と今後の経済産業政策が見える「新経済成長戦略」（2008年改訂版）

・発行：財団法人経済産業調査会（A5判、350頁、定価1、575円）

◎「カーボンフットプリント制度の在り方（指針）」（中間とりまとめ案）

・カーボンフットプリント制度とは商品サービスの原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクル全体を通して排出される温室効果ガスの排出量をCO₂に換算して、当該商品及びサービスに簡易な方法で分かりやすく表示する仕組み」を意味する。

(3) 全原連 関係

◎審議事項(役員会上げ、承認事項)

①「古紙商品化適格事業所」・「古紙リサイクルアドバイザー」申請認定に関する件。

・古紙商品化適格事業所：10月15日(3社

6事業所) 累計(358社、737事業所)

・リサイクルアドバイザー：10月15日(4

社、20名) 累計(376社、1,614名)

②新聞広告掲載に関する件。

・前回の役員会で指摘されました箇所を訂正しました。

・訂正箇所：全原連「ロゴマーク」、オフィス古紙ネット事業HP、全原連「優良性評価事業」の一環として「古紙商品化適格事業所」や「古紙リサイクルアドバイザー」を認定しています。

・掲載方法：全国版「日本経済新聞」に掲載予定。

・掲載方法：全国版「日本経済新聞」に掲載

地方版に掲載の場合はセンターの各地区委員会に相談して下さい。

(4) 各委員会報告

●経営革新委員会

・「古紙リサイクルアドバイザー」研修講習会を実施するにあたり、「古紙品質管理手順書」(概要版)をセンターの案に沿って

作成し、11月17日近畿地区開催時、手順書の確認及び講習会実施を決定予定。

●需給委員会

・海外市場調査(今年度はイギリス、オランダ) 10月12日(8日間) 予定。

・世界的金融危機に際し、輸出事業については停滞気味で厳しい状況である。

●IT推進委員会(10月9日開催)

・ホームページ(古紙回収ネット、認定制度等)の全面見直しを検討する。

・製紙原料卸システム導入状況(9月末、230事業所)

●渉外広報委員会

・新聞広告掲載については、(3)全原連関係、審議事項②を参照。

・「エコプロダクト2008」について今後、渉外広報委員会として出展する。

60周年記念実行委員会

◎平成20年10月8日(水) 担当者会議 出席理事13名 組合会議室 pm4:00(

プログラム順に各担当の動きを含めた確認(ドライリハーサル)

◎平成20年10月20日(月) 第2回60周年記念実行委員会出席理事 19名(内1名業者) 組合会議室 pm4:00(

実行委員会全員による最終確認(ドライリハーサル)

編集後記

広報部長 清水 弘允

皆さんご苦勞様でした。どうか無事に創立60周年記念事業が終わりました。思い返してみれば1年位前から来年は60周年だと言われ、今年の春に上野精養軒を予約して、ずっと準備をして来た気がします。60周年記念誌に載せるため、先輩に集まってもらい座談会を開催したのが初夏の7月2日。第1回目の実行委員会を開催したのが7月14日。そして先ずやった事はVIP招待者の決定でした。VIP招待者は予定が早く埋まってしまいうので、まず先方のスケジュールを押さえる必要があったからです。

盆明けから本格的な準備に入りました。式典、祝賀会の中身をどうするか。どちらも想像力を働かせないと出来ない作業です。当日の現場に立ったつもりで想像力を働かせながら、実行委員会メンバーで分担を決め段取りを詰めて行きました。初めは、まだ先の事と思いがちでピンと来なかったメンバーもいたようですが、準備会を重ねるうちに、次第に当日のイメージが描けるようになって来るのが横から見ても良く分かりました。

同じ目標に向かって一緒に作業をするとメンバー間の一体感も高まり、目標が高ければ高いほど達成感も深くなるという経験が今回、共有出来たのではないのでしょうか。

祝賀会が立ち席ではなくテーブル席になったので、担当の直納部の皆さんは席決めに大変苦労されたと思います。しかも最後まで出欠の変更など、気が抜けなかった事でしよう。

そんな訳で広報11月号は「創立60周年特集号」になりました。実行委員会メンバーを中心に自分の目で見た「創立60周年」の感想を寄せて頂きました。やっと「創立60周年」を終えほっとしている時、また原稿を書かされた方、いつも無理ばかり言って申し訳ありません。

10月24日の60周年記念事業開催日の直前から、世界的金融不安の影響で、株価と為替の変動が激しくなっています。实体经济にも影響が出始め、毎日の新聞の見出しを見ていると自分が歴史的転換期に立ち会っているとやう感を禁じえません。どれ程の混乱が起こるか分かりませんが、将来記録に残る一時期であることは間違いないでしょう。

今からの古紙業界が、どのように変動に巻き込まれていくか予断を許しません。あとで振り返った時、古紙業界が我々の創立60周年記念を境に長い低迷期に入ったと言う事のない様、今後も組合を中心に情報交換を蜜にし、創立60周年記念で鍛えた、将来に向けたイメージ作りの能力を活用して、困難な業界を乗り切って行きたいと思えます。



メッシュボックスフロア
ハルナーナ
「くらしを変える」
リターナブル
メッシュコンテナ

1台3役
収納 整理 貯蔵

強度も抜群
メッシュ構造で
軽量の高耐久性!
4段積みも可能です。

株式会社ダイフク 0120-887129

DAIFUKU Material Handling and Beyond